



2025年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月9日
東

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所
コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 野村秀輝
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理グループ統括 (氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785
定時株主総会開催予定日 2025年7月24日 配当支払開始予定日 2025年7月25日
有価証券報告書提出予定日 2025年7月22日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期の連結業績(2024年5月1日~2025年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期	33,721	13.0	1,594	△6.2	1,584	△7.9	1,019	△6.0
2024年4月期	29,840	12.9	1,700	25.3	1,719	27.0	1,084	25.4

(注) 包括利益 2025年4月期 1,041百万円(△5.7%) 2024年4月期 1,103百万円(29.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年4月期	80.87	—	14.0	10.6	4.7
2024年4月期	85.78	—	16.7	13.4	5.7

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年4月期	16,257	7,865	46.9	608.53
2024年4月期	13,624	7,139	51.0	549.41

(参考) 自己資本 2025年4月期 7,628百万円 2024年4月期 6,950百万円

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年4月期	1,420	△640	171	4,441
2024年4月期	581	△592	134	3,506

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年4月期	—	12.00	—	7.00	—	164	15.2	2.5
2025年4月期	—	7.00	—	8.00	15.00	188	18.5	2.6
2026年4月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00		15.6	

(注) 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024年4月期の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2024年4月期第2四半期末の1株当たり配当金は6円、年間配当金は13円となります。

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,299	13.1	784	21.1	776	19.0	577	30.7	45.85
通 期	38,080	12.9	1,841	15.5	1,830	15.5	1,291	26.7	102.50

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年4月期	12,752,000株	2024年4月期	12,752,000株
② 期末自己株式数	2025年4月期	216,352株	2024年4月期	101,502株
③ 期中平均株式数	2025年4月期	12,602,499株	2024年4月期	12,645,159株

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃上げの浸透、インバウンド需要の増加、パリオリンピック開催や日本人メジャーリーガーの活躍等明るい話題もありましたが、一時1ドル160円台を記録するなど過度の円安進行や米の価格高騰など継続的なインフレ、米国の高関税発動等、引き続き不安定で先行きが不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、値上げ浸透による顧客単価上昇やサービス強化により売上増を実現するサロンがある一方で、各種仕入れコストや光熱費の上昇、人手不足等に苦しむサロンも多く、倒産件数が過去最多を記録する等厳しい状況となりました。

そのような状況下、当社グループでは今後の大いなる成長実現のために積極投資を継続し、美容業界における圧倒的No.1プラットフォームの地位確立に向けて努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は33,721,346千円（前年同期比13.0%増）、売上総利益は8,455,598千円（前年同期比12.7%増）、営業利益は1,594,348千円（前年同期比6.2%減）、経常利益は1,584,263千円（前年同期比7.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,019,164千円（前年同期比6.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン等のいわゆる美容サロン向けに提供しております。

当連結会計年度におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善、各種サービスの強化に努めるとともに、物流力を武器とするための新物流拠点の開設準備や積極的なマーケティング活動に取り組んでまいりました。

この結果、物販事業全体としての売上高は27,733,085千円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は1,243,469千円（前年同期比15.5%減）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の5拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで美容サロンにおける独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。

当連結会計年度におきましては、美容サロン案件に加えて、比較的高単価のクリニックやショップ案件を伸ばすことが出来ました。

この結果、当事業の売上高は3,525,378千円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は273,292千円（前年同期比38.6%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。

当連結会計年度におきましては、サービスの認知度を向上させると共に、事業間・サービス間の連携を強化することでクロスセルを増やすことが出来たことにより各種サービスが堅調に推移し、売上高・利益共に大きく伸ばすことが出来ました。当事業の売上高は2,462,882千円（前年同期比27.6%増）、セグメント利益は326,476千円（前年同期比30.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.9%増加し、13,093百万円となりました。これは、主に現金及び預金と売掛金及び契約資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて17.1%増加し、3,164百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加及び投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて31.9%増加し、6,407百万円となりました。これは、主に仕入債務と1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて21.9%増加し、1,984百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加があったことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて10.2%増加し、7,865百万円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少176百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加1,019百万円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ935百万円増加し、4,441百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,420百万円（前年同期は581百万円増加）となりました。これは、主に売上債権の増加があったものの、税金等調整前当期純利益の計上及び仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、640百万円（前年同期は592百万円減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得及び敷金・保証金の差入れによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、171百万円（前年同期は134百万円増加）となりました。これは、主に長期借入による収入があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の美容業界におきましては、美容サロンの値上げに伴い顧客単価が上昇する一方で、業務委託サロンやシェアサロンの増加といった現象に象徴されるフリーランスの急増、という働き方の変化が更に加速していくものと見込まれます。また、美容サロンにおけるデジタル化やAIの活用も進むことから、集客方法や顧客対応に加えてバックオフィス業務も変化していくと思われます。

そのような大きな変化の時代が到来するという見通しの中で、当社はITテクノロジーと物流力を武器とし、美容業界の変革をリードしていく存在になりたいと考えております。そのためにこれからも新たな価値を続々と創造し、既存事業の進化と掛け合わせ、ワンストップサービスにいつそう磨きをかけ、サロンコンシェルジュNo.1企業の確立を目指してまいります。

2026年4月期は、新たに開設する第三の物流拠点（柏フルフィルメントセンター）を早期に安定運用させることで物流サービスの大幅なレベルアップを図るとともに、ECサイトの利便性向上と商品ラインアップの拡充、店舗リースをはじめとしたソリューションサービスの強化を推し進めてまいります。

以上により、2026年4月期の連結業績予想につきましては、売上高38,080百万円（前年同期比112.9%）、営業利益1,841百万円（前年同期比115.5%）、経常利益1,830百万円（前年同期比115.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益1,291百万円（前年同期比126.7%）を見込んでおります。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当連結会計年度 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,523,768	4,448,634
受取手形、売掛金及び契約資産	2,869,968	3,616,206
リース投資資産	242,469	293,177
営業投資有価証券	161,984	172,158
商品及び製品	3,199,442	3,375,530
仕掛品	150,992	154,017
前渡金	221,950	263,060
その他	571,070	792,336
貸倒引当金	△20,226	△21,935
流動資産合計	10,921,420	13,093,186
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	207,026	249,388
機械及び装置（純額）	29,497	24,136
車両運搬具（純額）	1,075	7,137
工具器具備品（純額）	48,363	68,141
土地	39,870	41,804
建設仮勘定	—	89,345
有形固定資産合計	325,832	479,954
無形固定資産		
ソフトウェア	327,012	244,565
のれん	207,837	137,961
その他	7,684	50,559
無形固定資産合計	542,533	433,086
投資その他の資産		
投資有価証券	196,868	337,172
繰延税金資産	313,785	428,855
敷金保証金	1,241,521	1,408,923
その他	85,378	79,355
貸倒引当金	△2,748	△2,748
投資その他の資産合計	1,834,804	2,251,559
固定資産合計	2,703,170	3,164,600
資産合計	13,624,591	16,257,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当連結会計年度 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,015,919	2,590,925
短期借入金	5,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	547,085	679,016
未払金	394,208	410,768
未払法人税等	381,522	426,417
前受金	523,389	867,130
契約負債	262,722	311,073
資産除去債務	3,231	—
賞与引当金	89,396	90,517
製品保証引当金	9,781	10,918
受注損失引当金	3,798	1,763
株主優待引当金	3,900	3,900
株式報酬引当金	15,202	14,248
その他	602,266	975,904
流動負債合計	4,857,423	6,407,584
固定負債		
長期借入金	1,085,531	1,440,461
退職給付に係る負債	42,492	35,172
資産除去債務	65,223	78,721
その他	434,208	430,168
固定負債合計	1,627,455	1,984,523
負債合計	6,484,879	8,392,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	794,585	818,498
利益剰余金	5,469,011	6,311,272
自己株式	△80,608	△243,856
株主資本合計	6,951,373	7,654,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	△20,009
為替換算調整勘定	△3,864	△5,915
その他の包括利益累計額合計	△1,088	△25,925
非支配株主持分	189,426	237,304
純資産合計	7,139,712	7,865,679
負債純資産合計	13,624,591	16,257,786

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)	当連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)
売上高	29,840,901	33,721,346
売上原価	22,340,472	25,265,747
売上総利益	7,500,429	8,455,598
販売費及び一般管理費	5,800,254	6,861,249
営業利益	1,700,175	1,594,348
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,787	13,080
為替差益	13,021	—
受取手数料	8,768	8,427
債権譲渡益	3,682	—
その他	4,147	7,725
営業外収益合計	38,408	29,233
営業外費用		
支払利息	7,824	11,799
チャージバック損失	7,684	130
持分法による投資損失	—	5,237
為替差損	—	13,795
その他	3,256	8,355
営業外費用合計	18,765	39,319
経常利益	1,719,818	1,584,263
特別損失		
減損損失	14,280	—
関係会社株式売却損	27,737	—
特別損失合計	42,018	—
税金等調整前当期純利益	1,677,800	1,584,263
法人税、住民税及び事業税	607,552	623,007
法人税等調整額	△38,247	△104,634
法人税等合計	569,305	518,372
当期純利益	1,108,495	1,065,890
非支配株主に帰属する当期純利益	23,817	46,726
親会社株主に帰属する当期純利益	1,084,677	1,019,164

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)	当連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)
当期純利益	1,108,495	1,065,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,776	△22,786
為替換算調整勘定	△7,342	△2,054
その他の包括利益合計	△4,566	△24,840
包括利益	1,103,928	1,041,049
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,078,200	994,327
非支配株主に係る包括利益	25,728	46,722

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	771,686	4,586,557	△95,247	6,031,381
当期変動額					
剰余金の配当			△202,223		△202,223
親会社株主に帰属する当期純利益			1,084,677		1,084,677
自己株式の取得					—
自己株式の処分		27,297		14,639	41,937
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△4,399			△4,399
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	22,898	882,453	14,639	919,992
当期末残高	768,385	794,585	5,469,011	△80,608	6,951,373

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	5,389	5,389	207,862	6,244,632
当期変動額					
剰余金の配当					△202,223
親会社株主に帰属する当期純利益					1,084,677
自己株式の取得					—
自己株式の処分					41,937
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△4,399
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,776	△9,253	△6,477	△18,435	△24,912
当期変動額合計	2,776	△9,253	△6,477	△18,435	895,079
当期末残高	2,776	△3,864	△1,088	189,426	7,139,712

当連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	768,385	794,585	5,469,011	△80,608	6,951,373
当期変動額					
剰余金の配当			△176,903		△176,903
親会社株主に帰属する当期純利益			1,019,164		1,019,164
自己株式の取得				△169,449	△169,449
自己株式の処分		5,403		6,200	11,604
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		18,509			18,509
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	23,913	842,261	△163,248	702,926
当期末残高	768,385	818,498	6,311,272	△243,856	7,654,299

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,776	△3,864	△1,088	189,426	7,139,712
当期変動額					
剰余金の配当					△176,903
親会社株主に帰属する当期純利益					1,019,164
自己株式の取得					△169,449
自己株式の処分					11,604
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					18,509
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,786	△2,051	△24,837	47,878	23,040
当期変動額合計	△22,786	△2,051	△24,837	47,878	725,967
当期末残高	△20,009	△5,915	△25,925	237,304	7,865,679

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)	当連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,677,800	1,584,263
減価償却費	187,249	194,948
減損損失	14,280	—
のれん償却額	77,406	69,875
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△973	1,708
契約負債の増減額 (△は減少)	49,889	48,350
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4,245	1,137
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	23,082	10,651
その他の引当金の増減額 (△は減少)	12,232	△8,234
受取利息及び受取配当金	△8,787	△13,080
支払利息	7,824	11,799
持分法による投資損益 (△は益)	—	5,237
助成金収入	△1,605	△514
有形固定資産売却損益 (△は益)	△472	△545
売上債権の増減額 (△は増加)	△171,440	△746,237
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△764,228	△233,340
仕入債務の増減額 (△は減少)	255,882	575,006
関係会社株式売却損益 (△は益)	27,737	—
前渡金の増減額 (△は増加)	△62,000	△41,110
未払金の増減額 (△は減少)	△33,529	19,279
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△148,135	127,674
未払費用の増減額 (△は減少)	26,687	229,861
前受金の増減額 (△は減少)	△103,271	343,741
その他	65,512	△192,806
小計	1,126,894	1,987,663
利息及び配当金の受取額	8,787	13,080
利息及び保証料の支払額	△6,753	△12,110
助成金の受取額	1,605	514
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△548,597	△569,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	581,936	1,420,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)	当連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,400	△20,400
定期預金の払戻による収入	25,650	30,900
有形固定資産の取得による支出	△24,340	△215,747
有形固定資産の売却による収入	472	545
無形固定資産の取得による支出	△120,135	△83,646
投資有価証券の取得による支出	△107,783	△178,763
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	7,329	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,334	—
敷金保証金の差入による支出	△387,444	△196,609
敷金保証金の回収による収入	37,485	28,897
その他	△2,884	△5,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592,716	△640,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△10,000	20,000
長期借入れによる収入	930,000	1,113,000
長期借入金の返済による支出	△563,132	△626,139
リース債務の返済による支出	△5,855	△9,038
自己株式の取得による支出	—	△169,449
非支配株主からの払込みによる収入	440	30,680
配当金の支払額	△202,100	△176,842
非支配株主への配当金の支払額	△8,460	△11,014
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△6,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,390	171,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,225	△15,362
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	143,836	935,366
現金及び現金同等物の期首残高	3,362,632	3,506,468
現金及び現金同等物の期末残高	3,506,468	4,441,834

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「物販事業」、「店舗設計事業」及び「その他周辺ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「物販事業」は、理美容室やエステティックサロン・ネイルサロン等の各種ビューティサロンで使用する理美容機器・化粧品等の仕入、販売を行っております。「店舗設計事業」は、店舗の内装工事等に関する設計・施工・監理を行っております。「その他周辺ソリューション事業」は、理美容室やビューティサロンに対する不動産仲介・開業支援・ITサポート・保険事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソリューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	9,524,748	—	—	9,524,748	—	9,524,748
化粧品等	14,524,970	—	—	14,524,970	—	14,524,970
金属スチール家具	484,821	—	—	484,821	—	484,821
その他	—	3,376,555	1,929,804	5,306,360	—	5,306,360
顧客との契約から生じる収益	24,534,541	3,376,555	555,112	28,466,209	—	28,466,209
その他の収益	—	—	1,374,692	1,374,692	—	1,374,692
外部顧客への売上高	24,534,541	3,376,555	1,929,804	29,840,901	—	29,840,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,648	23,266	7,179	51,094	△51,094	—
計	24,555,189	3,399,822	1,936,984	29,891,996	△51,094	29,840,901
セグメント利益	1,470,897	197,167	251,165	1,919,229	△219,054	1,700,175
その他の項目						
減価償却費	173,421	7,669	5,803	186,893	355	187,249
のれんの償却費	77,406	—	—	77,406	—	77,406

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,054千円には、セグメント間取引消去12,451千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,505千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物販事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度においては14,280千円であります。

当連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソリューション事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	10,017,324	—	—	10,017,324	—	10,017,324
化粧品等	17,244,520	—	—	17,244,520	—	17,244,520
金属スチール家具	471,240	—	—	471,240	—	471,240
その他	—	3,525,378	2,462,882	5,988,260	—	5,988,260
顧客との契約から生じる収益	27,733,085	3,525,378	702,418	31,960,882	—	31,960,882
その他の収益	—	—	1,760,463	1,760,463	—	1,760,463
外部顧客への売上高	27,733,085	3,525,378	2,462,882	33,721,346	—	33,721,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,492	45,089	12,503	81,084	△81,084	—
計	27,756,577	3,570,467	2,475,385	33,802,430	△81,084	33,721,346
セグメント利益	1,243,469	273,292	326,476	1,843,237	△248,888	1,594,348
その他の項目						
減価償却費	179,373	10,213	5,095	194,682	265	194,948
のれんの償却費	69,875	—	—	69,875	—	69,875

(注) 1. セグメント利益の調整額△248,888千円には、セグメント間取引消去2,608千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,497千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)	当連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)
1株当たり純資産額※3	549.41 円	608.53 円
1株当たり当期純利益金額※2	85.78 円	80.87 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額※1	－ 円	－ 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年5月1日 至 2024年4月30日)	当連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,084,677	1,019,164
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,084,677	1,019,164
普通株式の期中平均株式数(株)	12,645,159	12,602,499

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当連結会計年度 (2025年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	7,139,712	7,865,679
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	189,426	237,304
(うち非支配株主持分(千円))	(189,426)	(237,304)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,950,285	7,628,374
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	12,650,498	12,535,648

4. 当社は、2023年11月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。